

## Introducing New SourceOECD

### SourceOECD のサイトが新しくなります！

2000年11月のサービス開始以来、SourceOECDの利用件数は大幅に伸び続けています。2003年中にダウンロードされたPDFファイルは、10万件に達する見通しで、統計データベースの利用も確実に10万件を越える見込みです。

大幅な利用件数の増加に伴い、OECDはテクニカル・パートナーであるIngenta社にSourceOECDサイトの根本からの再構築を依頼しました。その成果が、New SourceOECDです。



現在、SourceOECDをご利用になっていらっしゃる利用者が、新しいサイトに戸惑うことがないように、構成はシンプルかつユーザーフレンドリーにできています。New SourceOECDは、IngentaSelectシステムから主要な部分を利用して構築されました。これは、Ingenta社が構築しているOECD以外の多くのポータルでも利用されているものです。その中には有名なEmeraldサービスなどもあります。世界銀行の新しいE-ライブラリーやオックスフォード大学のE-ライブラリーも、同じ技術を使っています。

#### New SourceOECD の予定

詳しい情報を、12月中に皆さんにお知らせいたします。

SourceOECDについてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

OECD Tokyo Center  
[centre@oecdtkojo.org](mailto:centre@oecdtkojo.org)

#### SourceOECD 2004年のリニューアルについて

SourceOECDを2002年1月以前に開始されたパッケージ・ユーザーの皆様へ、9月から“2004 Subscription Renewal”をお送りしております。お手元に届きましたでしょうか。

SourceOECDは年間定期購読、前払いにて承ります。12月中にお支払いいただければ、2004年に支障なくサービスが継続されます。お支払いがない場合は、1月中にオンラインサービスのご利用ができなくなりますので、お早めにお手続きいただけますようお願い申し上げます。

更新のお知らせが未だ届いていない方、ご購入内容に変更のある方は、東京センターまでお知らせ下さい。なお、4月から購読を開始された方には、2004年2月に更新のご案内を差し上げます。